

2019年5月15日

矢崎総業株式会社

「人とくるまのテクノロジー展 2019 横浜」に出展

矢崎総業株式会社(本社：東京都港区、社長：矢崎 信二)は、5月22日(水)～24日(金)にパシフィコ横浜(神奈川県横浜市西区)で開催される「人とくるまのテクノロジー展 2019 横浜」に出展します。

クルマのインフラシステムサプライヤである矢崎グループは、本展示会において、CASE などに
対応する先進安全システムとその構成部品に貢献する技術を紹介しします。

矢崎グループでは、「クルマの中」、「クルマと人」、「クルマとくらし」をつなぐ技術開発を進めており
今回は、クルマの中の情報と電力を確実に“つなぐ”技術 EEDDS(Electrical/Electronic
Distribution and Display System)を構成する各種システムと、メーター、ヘッドアップデ
ィスプレイ(以下、HUD)などを紹介しします。

【主な展示内容】

クルマの中

1) 電源システム

電源分配 BOX により、異常が発生した場合に電源ラインを切り離し、DC/DC コンバータ
から電源を供給する電源冗長システムを提案しします。

2) 高電圧電源分配システム

充電からバッテリー、駆動用モータまで、電源の接続・配電に関する製品群を最適配置や統
合化により部品を小型化することで、室内空間の拡大に貢献する高電圧電源分配シス
テムを提案しします。

3) 通信システム

自動運転やコネクテッドにより増大する情報を、確実かつ効率的に伝送する通信を実現さ
せ、車両への組み付け性や製造のばらつき、配索損失も加味した、高速かつ高信頼性の
通信インフラシステムを提案しします。

クルマと人

4) HMI(ヒューマン・マシン・インターフェース)

人やクルマの状態に応じた最適出力制御を行い、人に与える情報を一括コントロールする
統合制御ユニットやメーター、HUD を一般初公開しします。

クルマとくらし

5) タクシークラウドシステム

タクシー業界の労働環境に対応する法整備や業界再編の動きに適応した、タクシーメー
ター業界初のクラウドサービスを紹介しします。

【矢崎ブースイメージ】



以上